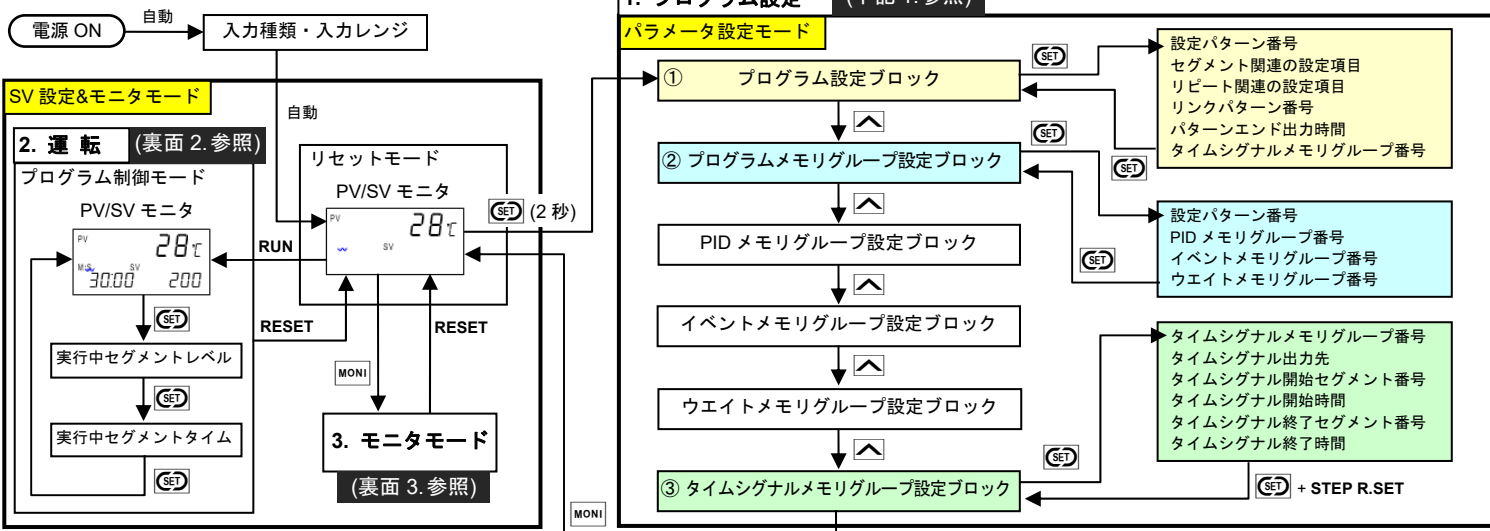


操作上の注意

- 本書のキー操作表記は以下の凡例を参照してください。
凡例 X: X キーを 1 回押す
X (n 回): X キーを n 回押す
X (n 秒): X キーを n 秒以上押す
X+Y: X キーと Y キーを両方押す
X+Y (n 秒): X キーと Y キーを n 秒以上両方押す
- 設定可能な画面で点滅している桁が変更可能です。▲、▼ キーで変更できます。点滅桁は ◀▶ キーで移動できます。
- 本製品の基点となる画面は、SV 設定&モニタモードの PV/SV モニタ画面です。いずれの画面を表示していても、以下のいずれかの操作で PV/SV モニタ画面に切り換えることができます。
 - ・MONI
 - ・RESET (制御中の場合、運転が停止します)
 - ・SET+<MODE
 - ・無操作 60 秒

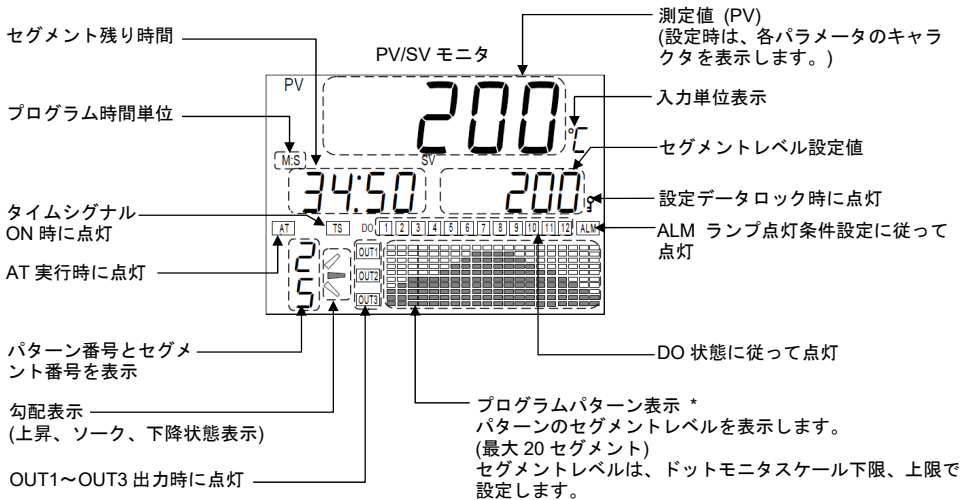
プログラム設定手順

電源を ON して、入力種類・入力レンジを自動で表示した後、最初に「SV 設定&モニタモード」の「PV/SV モニタ」が表示されます。プログラムの設定は「パラメータ設定モード」で行います。運転は「SV 設定&モニタモード」で運転モードの切り換えを行います。



1. プログラム設定

1.1 プログラム制御モードの表示



1.2 プログラムパターンの作成

■ プログラムパターン設定例

- プログラムパターンの設定例として、以下のデータを使用します。

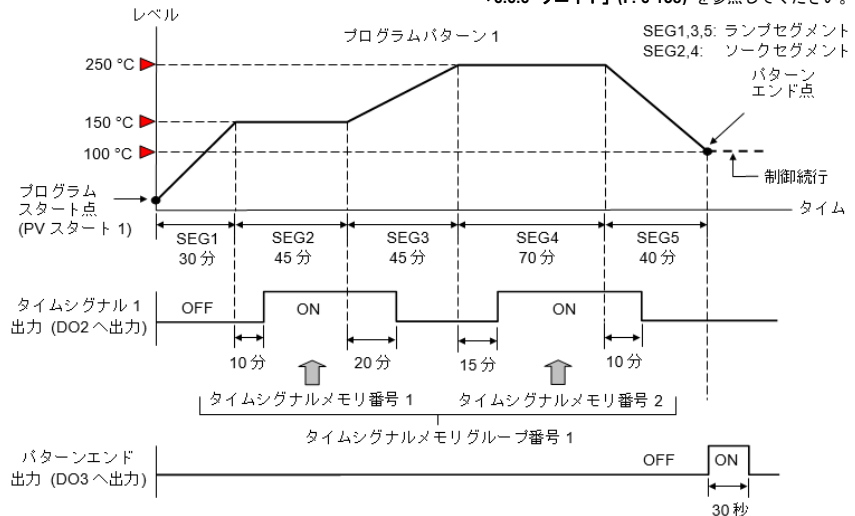
パターン番号	1
セグメント番号	SEG1 SEG2 SEG3 SEG4 SEG5
セグメントレベル	150 °C 150 °C 250 °C 250 °C 100 °C
セグメントタイム	30 分 45 分 45 分 70 分 40 分
PID メモリグループ番号	1 1 2 2 1
イベントメモリグループ番号	1 1 1 1 1
ウエイトメモリグループ番号	1 1 1 1 1

SEG: セグメント
TS: タイムシグナル

タイムシグナルメモリグループ番号	1
タイムシグナルメモリ番号	1 2
タイムシグナル出力先	TS1 TS1
タイムシグナル開始セグメント番号	2 4
タイムシグナル開始時間	10 分 15 分
タイムシグナル終了セグメント番号	3 5
タイムシグナル終了時間	20 分 10 分

パターンリPEAT実行回数	2
リンクパターン番号	1 (リンクなし)
パターンエンド出力時間	30 秒
ウエイトゾーン上側 *	10 °C
ウエイトゾーン下側 *	-10 °C
ウエイト解除トリガ選択 *	ゾーンウエイト 1

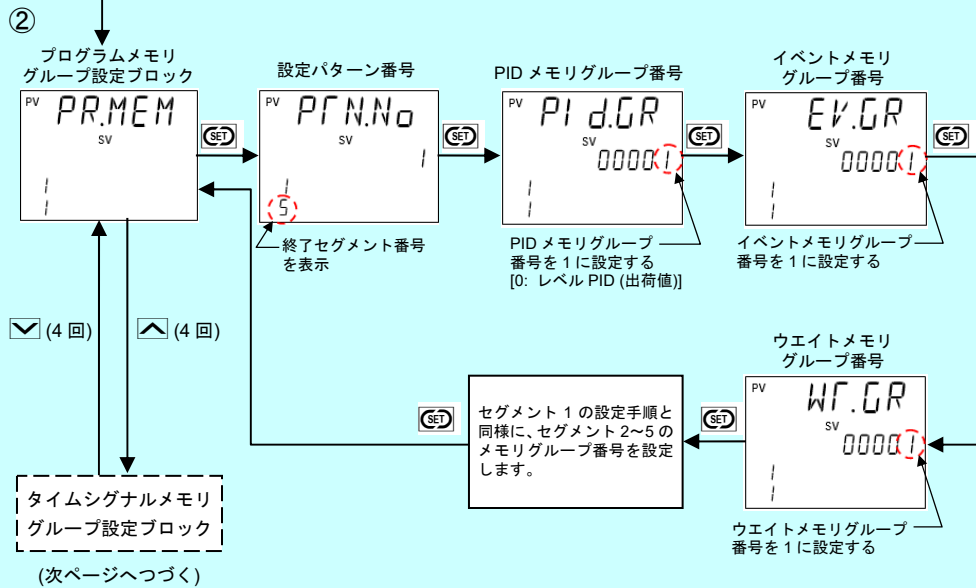
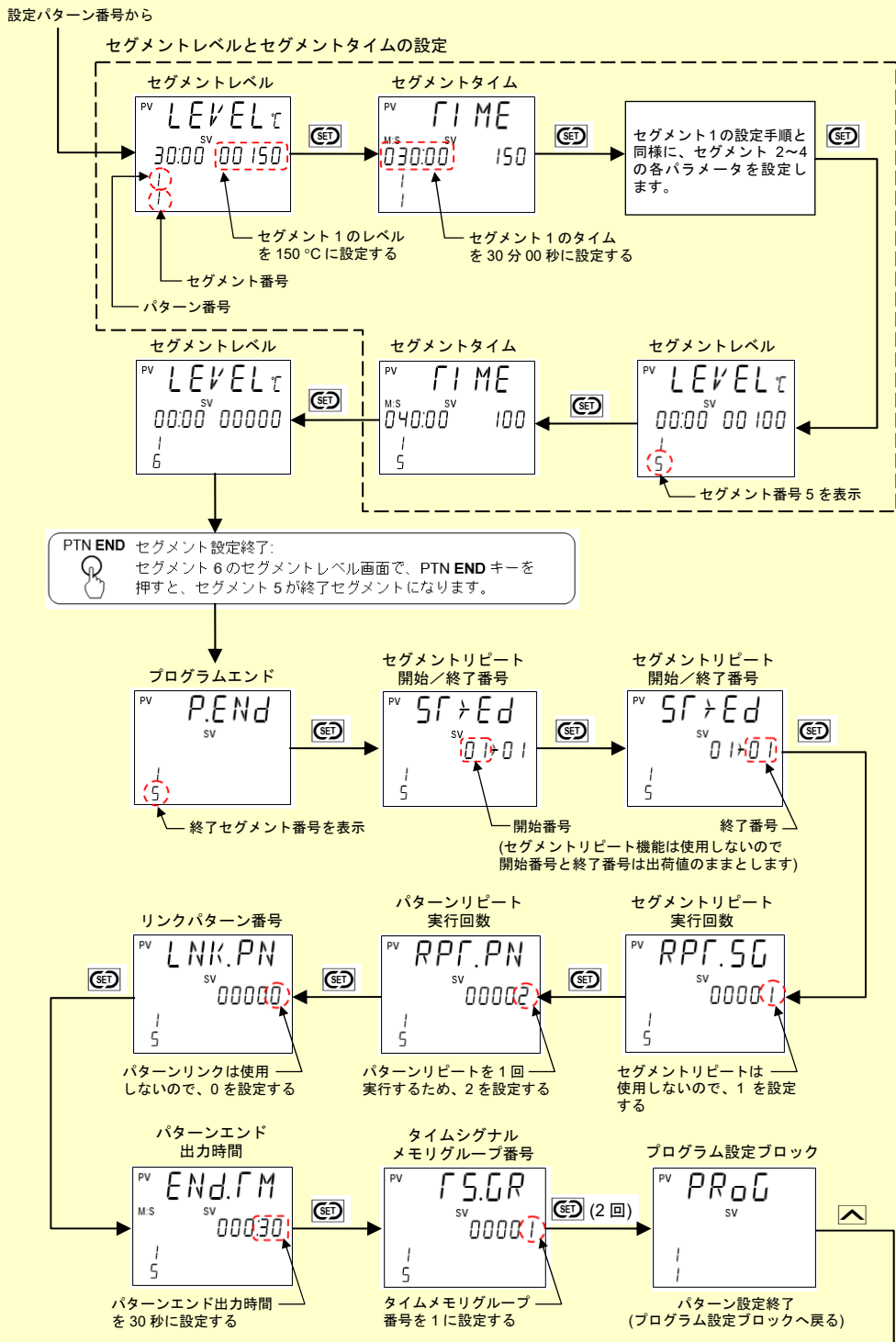
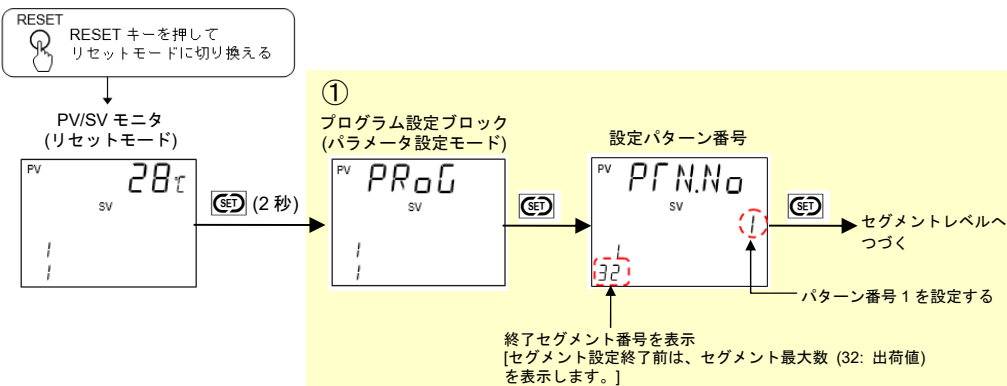
* この設定については別冊の PF900/PF901 取扱説明書「6.6.6 ウエイト」(P. 6-158) を参照してください。



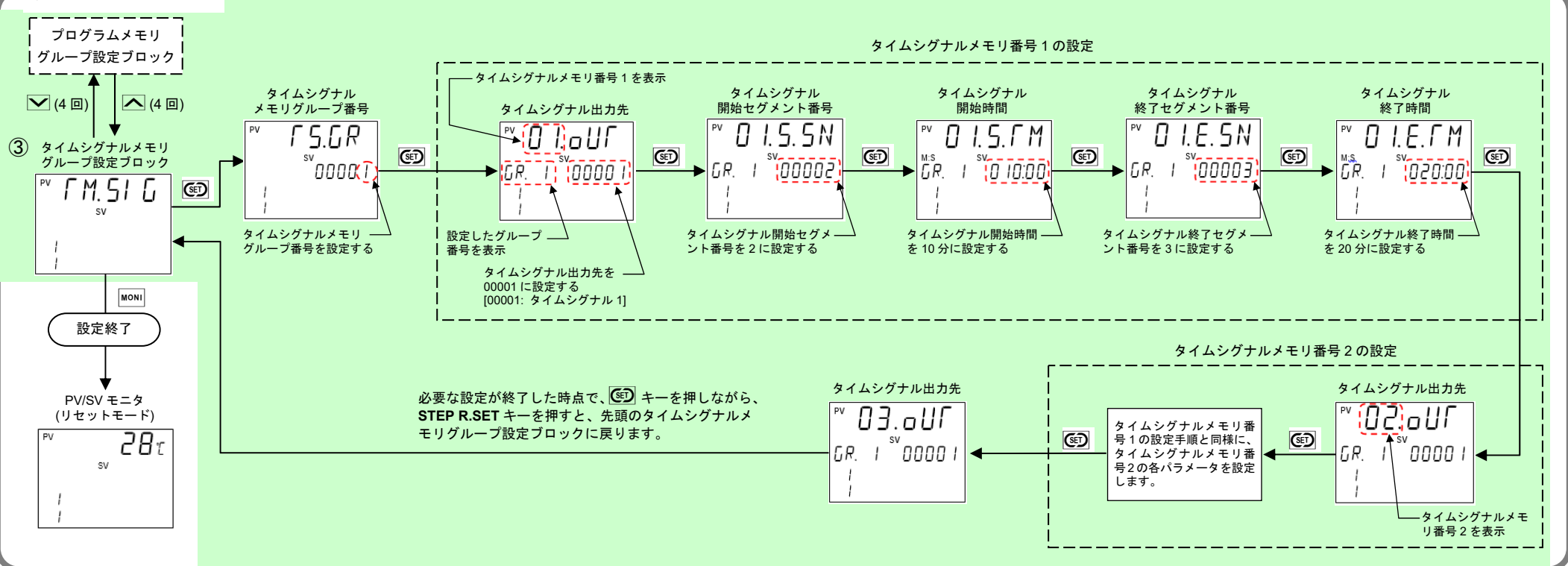
■ プログラムパターン設定手順

プログラムパターン設定例の内容に従って、各パラメータを設定します。なお、本設定例は、プログラム設定タイプを分割タイプ (出荷値) として説明しています。

- プログラム設定タイプが一括タイプの場合は、別冊の PF900/PF901 取扱説明書「パラメータの切り換え [一括タイプ]」(P. 4-28) を参照してください。



PID メモリグループ、イベントメモリグループ、ウエイトメモリグループの設定については PF900/PF901 取扱説明書「メモリグループのパラメータ設定手順」(P. 5-17) を参照してください。



2. 運 轉

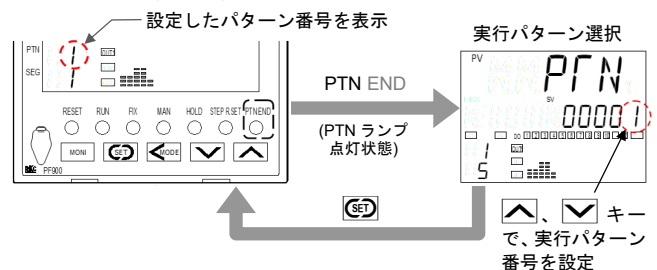
2.1 プログラム制御の開始と停止

■ プログラム制御の開始

● 実行パターンの選択

リセットモード (RESET) 状態で、PTN END キー (PTN ランプ点灯状態) を押して、実行パターン選択画面に切り換え、実行パターン番号を設定します。

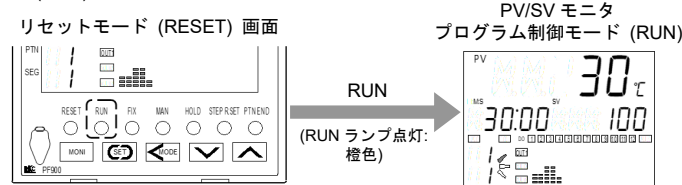
リセットモード (RESET) 画面



 タグ名称が設定されている場合は、パターン番号の代わりにタグ名称が表示されます。タグ名称については、別冊の PF900/PF901 取扱説明書「6.6.12 タグ機能」(P. 6-191) を参照してください。

● プログラム制御モードへの切換

リセットモード (RESET) 状態で、RUN キーを押すと、プログラム制御モード (RUN) に切り換わり、制御を開始します。



■ プログラム制御の停止

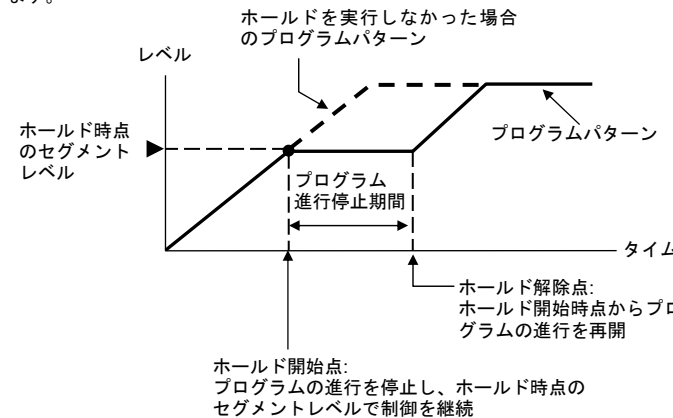
RESET キーを押すと、リセットモードに切り換わり、制御を停止します。ただし、以下のパラメータの設定内容によっては、一定の操作出力値を出力します。

- リセットモードの設定値 (SV) [出荷値: 0]
- リセットモードの操作出力値 (MV1) [出荷値: -5.0 %]
- リセットモードの操作出力値 (MV2) [出荷値: -5.0 %]



2.2 プログラムの一時停止 (ホールド)

プログラム制御中に、プログラムの進行を一時停止する機能です。
ホールドの開始および解除は、キー操作、デジタル入力 (DI) または通信で行います。



ホールド実行条件

- プログラム制御モード (RUN) であること。
- リセットモード (RESET) が割り付けた DI がオープンであること。
- プログラム制御モード (RUN) が割り付けた DI がオープンであること。

ホールド解除条件

- リセットモード (RESET) が割り付けた DI がオープンであること。
- プログラム制御モード (RUN) が割り付けた DI がオープンであること。

■ ホールド表示

ホールド状態のときは、TIME 表示器に *Hold* とセグメント残り時間を交互に表示します。



■ キー操作

プログラム制御中に HOLD キーを押すと、ホールド状態になります。
ホールド状態で HOLD キーを押すと、ホールド状態が解除され、プログラム制御を続行します。

 ホールド機能の詳細については、PF900/PF901 取扱説明書「6.6.4 ホールド (HOLD)」(P. 6-156) を参照してください。

3. モニタモード

